



# 日本の高校生の生活

写真集を通じて理解を深める



劉淑艷

Liu Shuyan

白求恩医科大学  
(中国、吉林省)

## 授業のねらい

この授業では、生徒にとって興味のある日本の高校生の生活というテーマを取り上げる。同世代の若者の生活を知ることを通じて、日本の高校生や日本社会について理解を深め、固定観念を改めると同時に、自分の生活と比較しながら、相違点、共通点を見出す。

また小テスト、話し合いなどを通して、日常生活に関するいきいきとした言葉を身につけ、聞く、話す、読む、書くなどの能力を高める。

## 学習項目

### 言語面

#### 機能

- ❖ 自分の考え、感想を表現する
- ❖ 自分の生活について説明する

#### 表現

- ❖ ~れる、~られる、~ことがある(ありません) ~ようです、~と思います、気が向く

#### 語彙

- ❖ 時間割、組む、まなざし、普段、落ち着く、身につける、強制、ペア、ミステリー

### 文化面

- 日本の高校生に対する理解を深める
- 自分の生活を再認識する
- 自分と相手の相違点、共通点を見出す

## レッスンプラン

### 用意するもの

ワークシート(資料1\*)  
 日野俊さんの写真5枚(資料2\*)  
 または写真集『伝えたいわたしたちの素顔』<sup>1</sup>  
 写真集に掲載された高校生のメッセージが  
 録音されたテープ  
 テープレコーダー  
 日野俊さんについての説明文

- 1 TJFが1998年に発行した写真集。これには、1997年に開催した「第1回日本の高校生の日常生活写真コンテスト」に寄せられた222作品から主に26作品が収められている。

### 授業の進め方

#### 準備

- 1 生徒に自分の毎日の生活について300字くらいの作文を書かせる。
- 2 生徒に全日制普通高級中学教科書『日語』第二冊の15課のコラムを読ませる。コラムには日本の高校生の文化、生活が書かれている。
- 3 写真集『伝えたいわたしたちの素顔』を壁にかけておき、生徒に見せる。そして、これは日本の高校生のありのままの生活であることを教える。

#### 1. 導入(2分)

始まりのあいさつをしたあと、教師は壁にかけてある写真集を指して、日本語で生徒に、「これらの写真を全部見ましたか。どの写真に興味がありますか」または「自分の毎日の生活はどうでしょうか。話してください」などと質問する。

#### 2. 作文の発表(10分)

生徒に作文を発表させて、お互いの毎日の生活について知り、理解を深めさせる。

#### 3. 日本の高校と高校生についての説明(3分)

##### 1. 日本の高校について

日本の高校は中国とだいたい同じである。学校で勉強する期間は3年間で、公立学校、私立学校などがある。そして、普通科の高校、専門高校(工業学校のような)などがある。ただし、中国と違うのは、日本では全日制のほかに定時制の高校がある。定時制というのは、1年間の最低出席日数を定め、主に夜間に授業を行う教育制度である。写真集に登場する日野俊さんも定時制の高校に通っている。日野さんの通う高校にはもう一つ特徴

がある。取得すべき単位数を特定の学年、特定の科目で取得するのではなく、大学のように、多くの科目の中から自分で選択したり、1学年で取得する単位数を自分で決めたりすることができる。このように選択の幅が大きい単位制を導入している高校は日本でもまだ少ない。

##### 2. 日本の高校生の日常生活について

日本の高校生の生活について、次のような説明を行う。

「日本の高校生は規則にしばられ、受験勉強に追われ、毎日大変だ」というイメージを持っているかもしれない。しかし、現実には日本の高校生もみなさんと同じようにそれぞれ個性豊かに高校生活を楽しんでがんばっている。みなさんと同じように喜怒哀楽もある。確かに勉強に熱中しているが、クラブ活動も忙しいし、文化祭でも活躍している。美術や音楽に興味のある人もいれば、柔道や写真撮影が好きな人もいる。そして、放課後、友だちや家族とおしゃべりをしたり、遊んだり、ゲームをしたりして、充実した日々を楽しんでいる。

##### 4. 新しい単語の導入(10分)

写真集の説明文に出てくる言葉を紹介する。

##### 5. リスニングテスト(15分)

日野俊さんの日常生活の写真を見せながら、リスニングテストを行う。

1. 問題用紙を配って生徒に目を通させる。
2. テープを聞かせたあと、答えを書かせる。
3. 日野俊さんの生活に関する説明文を配る。
4. とんりの席の生徒と答えを書き込んだ問題用紙を交換させる。説明文を読ませ、答え合わせをさせて、点数をつけさせる。その後、教師に提出させる。

##### 6. 話し合い(10分)

日本の高校生の日常生活について、次のような点について話し合わせる。

1. 写真を見る前、日本の高校生にどんなイメージを持っていたか。
2. 日本の高校生と自分と似ているところは何か、違うところは何か。
3. 日本の高校生の生活をどう思っているか。自分と相手の生活はどちらがいいと思うか。

##### 7. 発展学習

写真集を見て、いろいろな高校生の写真の中から興味を持った生徒について作文を書かせる。

## 生徒の感想

普通、俊さんの高校のような単位制をとっているのは大学ですが、日本にはそういう高校もあると初めて聞いた。日本でもユニークらしいけど、中国には全然ない。

日本の高校は教室や机といすがきれいだ。

日本では高校生もアルバイトをしている。学費と小遣いを自分でかせいでいる人がいる。子どもの独立性を養うのに役立っていいことだ。

これまでは、日本の高校生はしかめっ面をしてまじめな人が多いと思っていたが、写真を見たり、テープを聞いたりして、日本の高校生も自分と同じように個性豊かな生活をしているのがわかった。

## 選考委員会から

このレッスンプランでは、すべて日本語で行っていますが、生徒の学習レベルによっては、母語で行う活動の分量を増やし、学習項目の設定を変更して扱うこともできるでしょう。たとえば「日常生活に関する表現、文型、語彙」に限ってもいいでしょう。たとえ日本語で授業を実施できなくても、このレッスンプランで取り上げている題材は生徒の意欲を高めるいい刺激となるでしょう。

日本の高校生の生活 資料1

## 名前 \_\_\_\_\_

1. 普通、日本の高校生の年齢は何歳から何歳までですか。
2. 俊さんの学校には何歳以上の生徒がたくさんいますか。  
A. 15歳 B. 17歳 C. 18歳
3. 俊さんは教室で誰と話合っていますか。
4. 英語の授業の生徒数は、1クラス何人くらいですか。
5. 俊さんの将来の夢は何ですか。  
A. ミステリー作家 B. 映画の俳優 C. スポーツ選手
6. 俊さんの学校の授業は何時から何時までですか。
7. 俊さんはどこでアルバイトをしていますか。  
A. レストラン B. ガソリンスタンド C. 自動車工場
8. 俊さんの友だちの中でアルバイトをしている人が多いですか、少ないですか。
9. 俊さんはよく料理を作りますか。
10. 俊さんは湯船につかりながら、何を读みますか。

## 日野俊さん



教室で英会話の先生と語りあう。英語の授業は、日本人とネイティブの先生がペアになって教えている。生徒数は1クラス40人くらいだが、授業によってはもっと少なくなることもある。



定時制高校芸術祭の舞台で、失明した元ボクサーの役を演じている日野くん。将来は、ミステリー作家になるのが夢。普段から脚本を書きためている。



学校の授業は午後1時から夜7時まで。週3回、夜10時から翌朝8時まで、ガソリンスタンドでアルバイトをしている。時給は1,000円。友だちのほとんどがアルバイトをしており、学費やこづかいを自分でかせいでいる人が多い。



友だちが家に泊まりにきたので、得意のチャーハンをつくっている。卵をといて入れるのがおいしくつくるコツ。家族といっしょにくらしているので、自分で料理をつくるのは気が向いたときだけだ。

写真：中西祐介

写真・キャプション：『伝えたい私たちの素顔』pp.6-9から転載



風呂は短くて40分、長いときは2時間も入っている。「男のくせに長風呂ね」とよくいわれる。湯船につかりながら、大好きなミステリーやマンガを読んでいる時が、いちばん落ちつく。